



(題字 小黒千足 学長)

第327号

(平成3年10月・11月合併号)



平成3年度富山大学先端技術研修の「バイオコース」(於 本学地域共同研究センター)

目 次

学 内 諸 報	レクリエーション	18
◆ 中華人民共和国地方教育行政官の 来学	海外渡航者	19
◆ 高等学校長協会と大学との懇談会 の実施	職 員 消 息	21
◆ 平成3年度富山地区国立学校事務 電算化要員養成研修会の実施	お 知 ら せ	22
◆ 教育学部附属中学校が全日本合唱 コンクール全国大会で「銀賞」を受賞	◆ 授業料納付方法の変更について	22
人 事 異 動	主 要 行 事	23
学 事		
◆ 平成4年度富山大学学生募集要項 の発表		
◆ 平成3年度科学研究費補助金交付 内定者		
関 係 法 令		
諸 会 議		
学 内 規 則		
◆ 富山大学教育学部附属学校規則の 一部改正		
◆ 富山大学国際交流委員会留学生部 会内規の一部改正		



中華人民共和国地方教育行政官の来学

中国政府の要請により、国際協力事業団（JICA）の委託と文部省の協力のもとに、財団法人国際教育交流馬場財団が平成2年度から実施している「中国地方教育行政官の日本における教育行政の現地研修」の第2陣（平成3年度）の一行（10人）が、日本の地方の産官学の連携について理解を深めるため、去る10月23日（水）、10月24日（木）の両日本学を訪れました。

一行は、9月29日の来日以降各地で学校や企業等を視察、意見交換を精力的にこなして、日本における研修の最後の地域として富山を訪れたものです。

第一日目、午前9時20分に本学に到着した張 天保 国家教育委員会政策法規司司長を団長とする一行は、事務局正面玄関で事務局職員による歓迎の拍手で迎えられ、大会議室において小黒学長から歓迎の挨拶を受けた後、本学の組織と教育研究の概要に関する質疑応答を中心とする懇談に入りました。

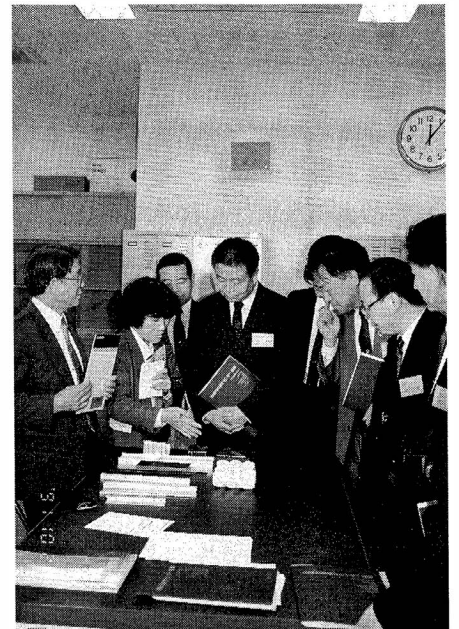


▲ 小黒学長から歓迎の挨拶を受ける研修団の一行

引き続き、懇談の場を工学部大会議室に移し、工学部及び地域共同研究センターの概要について説明を受けた後、多々工学部長、龍山地域共同研究センター長、工学部評議員及び関係教官等を囲み、産官学の連携にかかる大学の役割等について、充実した質疑応答が行われました。その際、研修団から、無償で共同研究及び新技術の開発に携わっている教官各位に対して敬意が表されました。

当日の午後は、富山技術開発財団に移動し、産業界、

県及び本学関係者と合同で意見交換が行われ、県関係者に対しては、産官学の調整担当機関としての役割を、産業界関係者に対しては、若い研究者の育成や企業における組織の在り方、社員教育等について、それぞれ熱心に質疑応答がなされました。



▲ 共同研究についての説明に、真剣な面持ちで聞き入る研修員（中央は張団長）

次いで、当日の研修日程を終えた一行に対し、本学工学部生協食堂において、本学共同研究担当者、国際交流担当者ほか在学中の留学生等も交えての盛大な歓迎会が開催され、留学生から余興が披露されるなど和やかに懇談が行われました。

研修日程二日目、研修団は株式会社不二越を訪問しました。

はじめに、同社会議室で田中弘義取締役技術本部長から歓迎の挨拶があり、次いで、中国語パンフレットにより、昭和3年の操業以来技術開発を指向し、とりわけ機械技術の極限に挑戦してきたこと、現在は、生産システム革命に対応して多彩なロボットシステムを内外市場に供給し、工場のFAシステム化を担っていることなど、同社の事業内容について説明がありました。

引き続き、展示館、ロボット工場及び中田工場を順次視察し、特に、同社の製品である各種のロボットや工作機械によりFAシステム化されている中田工場では、玩具のように工場内を走る無人自動車の動きに笑みをこぼしながらも、無人化された生産ラインに感銘

を受けた様子で説明に聞き入っていました。

視察後、同社の迎賓館「無邊閣」の庭園で記念撮影をし、同社技術本部幹部職員を交え昼食を取りながら懇談しました。

株式会社不二越訪問中随所で、教育行政官の立場から、職員の学歴と職務内容との関係や社内教育の実態

などの質問が多く出され、その都度丁寧な回答があり予定時間を超えて活発な意見交換が行われました。

最後に、張 天保団長から、有意義な研修となったことに謝辞があり、また、帰国後教育行政に反映させたい旨抱負が述べられ、二日間にわたる研修を修了しました。

—— 本学入学試験に関し ——

高等学校長協会と大学との懇談会

平成3年度高等学校長協会と大学との懇談会が、去る10月7日（月）午後から本学事務局大会議室で開催されました。

この懇談会は、本学の入学試験について高等学校の理解を求めることを目的に開催しているもので、本年度は、富山・石川両県の高等学校長協会から、協会長

等32名の出席がありました。本学からは、小黒学長をはじめ各学部長、教養部長、学生部長等が出席して懇談が行われ、特に、平成4年度入試から本学が分離・分割方式による新しい入試制度を採用することに関連した質問や要望について、2時間半にわたり熱心に懇談が行われました。



▲ 富山・石川両県下から多数の高校長らが参集して開催された懇談会

平成3年度富山地区国立学校 事務電算化要員養成研修会

— 新たに16名の事務電算化要員を養成 —

昭和60年度から毎年行われている事務電算化要員養成研修会が、去る9月30日(月)から10月4日(金)の5日間にわたり、実施されました。

この研修会は、事務電算化をより一層推進するため、経験のない職員に対し、電算処理を行うために必要な基礎的な知識及び技術を修得させることを目的とし、今年度も昨年に引き続き、高岡短期大学、富山工業高等専門学校、富山商船高等専門学校からの参加を得、16名の受講生が、連日充実したスケジュールを精力的にこなしました。

中でも、研修後半約40時間を費やしてのコボルプログラム作成・実習では、平均年齢31才の若い頭脳をフルに使い、実習問題と取り組んでいました。



▲ 机上いっぱいに資料を広げてのプログラミング

各受講生は、ワープロとは違いこれまでなじみの薄かったコンピューターの取扱いに戸惑いながらも、自らが作成したプログラムによって所期の情報を導き出すことができ、事務電算化要員としての今後の活躍が期待されます。



▲ 初めて作成したプログラムを真剣な面持ちで入力する

〔 受 講 者 〕

富山大学	庶務部庶務課	北川敬信
〃	経理部主計課	松田信和
〃	経理部経理課	丸本理恵子
〃	学生部学生課	杉田昇
〃	人文学部・理学部	長谷川美憲
〃	人文学部・理学部	村崎勝子
〃	教育学部	畠山節子
〃	教育学部	中波憲子

富山大学	経済学部	竹内由利
〃	工学部	杉本祐文
〃	工学部	尾崎美幸
〃	附属図書館	佐野久子
〃	附属図書館	寺田明弘
高岡短期大学	学生課	桐井久美枝
富山工業高等専門学校	庶務課	高尾京子
富山商船高等専門学校	庶務課	大崎秀雄

(以上 16名)

学 事

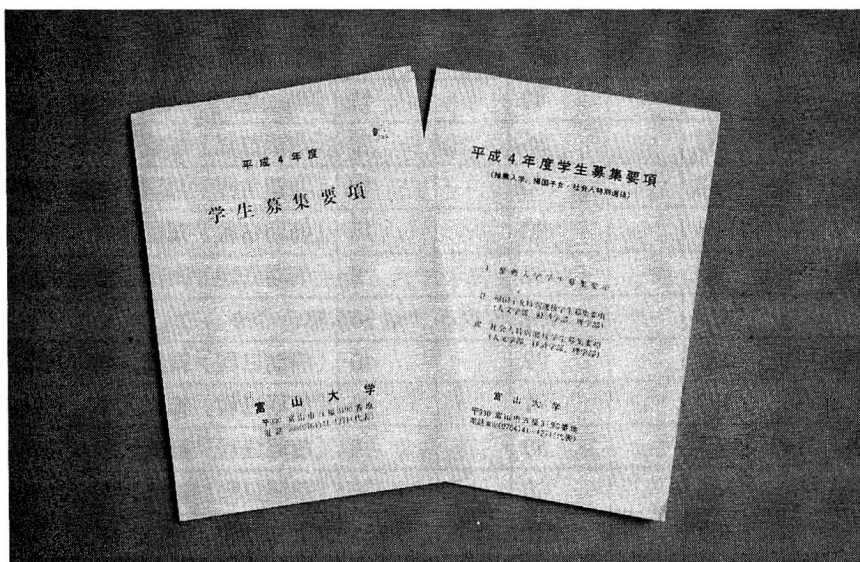
平成4年度富山大学学生募集要項の発表

平成4年度の本学学生募集要項が、去る10月9日(水)に発表された。

既に本年7月の「入学者選抜に関する要項」で平成4年度入学試験から分離・分割方式を採用し、一部連続方式を併用した新しい方式の入学者選抜で実施する

ことを発表しているが、今回発表された学生募集では、A・前期日程とB・後期日程別の検査日程とするともに出願書類を色分けするなど、受験生に分かり易いよう工夫して作成された。

なお、学生募集要項の概要は、次のとおり。



▲ 発表された平成4年度学生募集要項及び特別選抜学生募集要項

平成4年度富山大学学生募集要項（抜粋）

1 募 集 人 員

学部	学科・課程等	入学定員	募 集 人 員				募集人員に含まれる 特別選抜の募集人員
			A日程	前期日程	B日程	後期日程	
人学 文部	人文学科	95		70		25	〔前期日程〕 推薦入学(10名程度)、帰国子女・社会人特別選抜(若干名)
	語学文学科	(注2) 95		70		25	
	計	190		140		50	

学部	学科・課程等	入学定員	募 集 人 員				募集人員に含まれる 特別選抜の募集人員	
			A日程	前期日程	B日程	後期日程		
教育学部	小学校教員養成課程	100		70		30		
	中学校教員養成課程	50	50				(A日程) 推薦入学(6名以内…理科、美術及び家庭の各専攻2名以内)	
	養護学校教員養成課程	20		14		6		
	幼稚園教員養成課程	30		21		9		
	情報教育課程	40		30		10	(前期日程) 推薦入学(10名以内)	
	計	240	50	135		55		
経済学部	昼コ 間 主ス	経済学科	159		115		44	(前期日程)
		経営学科	124		91		33	推薦入学(30名以内)、帰国子女特別選抜(若干名)
		経営法学科	102		74		28	
	計	385		280		105		
	夜コ 間 主ス	経済学科	20			20		(B日程)
		経営学科	20			20		推薦入学(20名程度)、社会人特別選抜(20名程度)
		経営法学科	20			20		
	計	60			60			
	(注1)	小 計	445		280	60	105	
	理学部	数 学 科	53		42		11	(前期日程) 推薦入学(12名以内)、帰国子女特別選抜(若干名)
物 理 学 科		47		35		12	(前期日程) 帰国子女特別選抜(若干名)	
化 学 科		43		30		13	(前期日程) 帰国子女特別選抜(若干名)	
生 物 学 科		(注2) 35		20		15	(前期日程) 帰国子女・社会人特別選抜(若干名)	
地 球 科 学 科		32		27		5	(前期日程) 帰国子女特別選抜(若干名)	
計		210		154		56		
工学部	電子情報工学科	132		92		40	(前期日程) 推薦入学(19名以内)	
	機械システム工学科	101		71		30	(前期日程) 推薦入学(15名以内)	
	物質工学科	83		58		25	(前期日程) 推薦入学(12名以内)	
	化学生物工学科	86		60		26	(前期日程) 推薦入学(12名以内)	
	計	402		281		121		
合 計		1,487	50	990	60	387		

(注1) 1 経済学部の「昼間主コース」とは、主として昼間の授業を履修するコースであり、「夜間主コース」とは、主として夜間の授業を履修するコースですが、修業年限はともに4年です。

2 募集人員の増員について

本学は上記入学定員の増員(人文学部語学文学科15名、理学部生物学科10名)を計画しています。

平成4年度予算の関係で現在は未定ですが、この詳細は政府予算案の決定後(平成4年1月頃)発表する予定ですので注意してください。

2 試験実施方式等

(1) 実施方式・日程

本学の入学者の選抜は、連続方式(A日程・B日程)と分離・分割方式(前期日程・後期日程)を併用して行います。

学部、学科(課程)ごとの実施方式は次のとおりです。

実施方式・日程		学 部	学 科 (課 程)
連続方式	A 日程	教 育 学 部	中学校教員養成課程
	B 日程	経 済 学 部 「夜間主コース」	経済学科、経営学科、経営法学科
分離・分割方式	前期日程 ・ 後期日程	人 文 学 部	人文学科、語学文学科
		教 育 学 部	小学校教員養成課程、養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程、情報教育課程
		経 済 学 部 「昼間主コース」	経済学科、経営学科、経営法学科
		理 学 部	数学科、物理学科、化学科、生物学科、地球科学科
		工 学 部	電子情報工学科、機械システム工学科、物質工学科、 化学生物工学科

(2) 実施方式・日程間の併願

① 志願者は、連続方式の「A日程」グループ又は分離・分割方式の「前期日程」グループから一つ、連続方式の「B日程」グループ又は分離・分割方式の「後期日程」グループから一つの合計二つの国公立大学・学部（私立産業医科大学を含む。以下同じ。）に出願することができます。

したがって、併願が可能な方法は、次のとおりです。

「A-B」、「A-後期」、「前期-B」、「前期-後期」

② 本学のA日程・前期日程の学部、学科（課程）とB日程・後期日程の学部、学科（課程）は、併願することができます。

③ 本学を含む前期日程の大学・学部合格し入学手続きを完了した場合は、本学のB日程又は後期日程の学部、学科（課程）を受験してもその合格者とはなりません。

3 出 願 資 格

次のいずれかに該当し、かつ平成4年度大学入学者選抜大学入試センター試験（以下「大学入試センター試験」という。）において、本学が指定した教科・科目を受験した者

- (1) 高等学校を卒業した者及び平成4年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成4年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第69条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成4年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(注) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目については、「6 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目」を参照してください。

4 出 願 期 間

平成4年1月22日（水）から1月31日（金）までに必着のこと。

受付は午前9時から午後5時まで。ただし、土曜日の午後及び日曜日は受け付けない。

5 入 学 者 の 選 抜 方 法

- (1) 入学者の選抜は、大学入試センター試験、本学の個別学力検査等、調査書及び健康診断を総合して行います。
- (2) 本学は、2段階選抜は行いません。

6 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

本学において受験を要する教科・科目は次のとおりです。

(1) A日程・前期日程

学部	学科・課程等	受験を要する教科・科目名	受験を要する教科・科目数
人文学部	人文学科	国 社〔倫、日、世、地理、現社から1〕 数〔数Ⅰ〕	5教科5科目
	語学文学科	理〔物、化、生、地学、理Ⅰから1〕 外〔英、独、仏から1〕	
教育学部	小学校教員養成課程 中学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程 情報教育課程	国 社〔倫、日、世、地理、現社から1〕 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ、工、簿から1」〕 理〔物、化、生、地学、理Ⅰから1〕	5教科6科目
	経学部 経済部	経済学科 経営学科 経営法学科 外〔英、独、仏から1〕	
理学部	数学科 生物学科 地球科学科	国 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ」〕 理〔物、化、生、地学から1〕 外〔英、独、仏から1〕	4教科5科目
	物理学科 化学科	国 社〔倫、日、世、地理、現社から1〕 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ」〕 理〔物、化、生、地学から1〕 外〔英、独、仏から1〕	
工学部	電子情報工学科 機械システム工学科 物質工学科 化学生物工学科	国 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ、工、簿から1」〕 理〔物、化、生、地学、理Ⅰから1〕 外〔英、独、仏から1〕	4教科5科目

- (注) 1. 「現代社会」を選択解答できる者は、高等学校の普通科・理数科の卒業（見込み）者以外に限る。
2. 「工業数理」又は「簿記会計Ⅰ・簿記会計Ⅱ」を選択解答できる者は、高等学校において「工業数理」又は「簿記会計Ⅰ・簿記会計Ⅱ」を履修した者及び文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限る。
3. 「理科Ⅰ」を選択解答できる者は、高等学校の普通科・理数科の卒業（見込み）者以外に限る。
4. 「理科」について、複数科目を受験している場合は高得点の科目を利用する。
5. 指定された教科・科目を受験していない場合は、「失格」とする。

(2) B日程・後期日程

学部	学科・課程等	受験を要する教科・科目名	受験を要する教科・科目数	
人文学部	人文学科	国 社〔倫、日、世、地理、現社から1〕 (注1) 数〔数Ⅰ〕	5教科5科目	
	語学文学科	理〔物、化、生、地学、理Ⅰから1〕 (注3) 外〔英、独、仏から1〕		
教育学部	小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程 情報教育課程	国 社〔倫、日、世、地理、現社から1〕 (注1) 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ、工、簿から1」〕 (注2) 理〔物、化、生、地学、理Ⅰから1〕 (注3) 外〔英、独、仏から1〕	5教科6科目	
経済学部	昼コ 間 主ス	経済学科 経営学科 経営法学科	国 社〔倫、日、世、地理、現社から1〕 (注1) 外〔英、独、仏から1〕	3教科3科目
	夜コ 間 主ス	経済学科 経営学科 経営法学科	国 社〔倫、日、世、地理、現社から1〕 (注1) 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ、工、簿から1」〕 (注2) 理〔物、化、生、地学、理Ⅰから1〕 (注3) 外〔英、独、仏から1〕	5教科6科目
理学部	数学科	国 社〔倫、日、世、地理、現社から1〕 (注1) 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ」〕 理〔物、化、生、地学、から1〕 外〔英、独、仏から1〕	5教科6科目	
	物理学科	国 社〔倫、日、世、地理、現社から1〕 (注1) 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ」〕 理〔物〕 外〔英、独、仏から1〕	5教科6科目	
	化学科	数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ」〕 理〔物、化、生、地学から1〕 外〔英、独、仏から1〕	3教科4科目	
	生物学科	国 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ」〕 理〔物、化から1〕 外〔英、独、仏から1〕	4教科5科目	
	地球科学科	国 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ」〕 理〔地学〕 外〔英、独、仏から1〕	4教科5科目	
工学部	電子情報工学科 機械システム工学科 物質工学科 化学生物工学科	国 数〔「数Ⅰ」と「数Ⅱ、工、簿から1」〕 (注2) 理〔物、化、生、地学、理Ⅰから1〕 (注3) 外〔英、独、仏から1〕	4教科5科目	

- (注) 1. 「現代社会」を選択解答できる者は、高等学校の普通科・理数科の卒業（見込み）者以外に限る。
2. 「工業数理」又は「簿記会計Ⅰ・簿記会計Ⅱ」を選択解答できる者は、高等学校において「工業数理」又は「簿記会計Ⅰ・簿記会計Ⅱ」を履修した者及び文部大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の

修了（見込み）者に限る。

3. 「理科Ⅰ」を選択解答できる者は、高等学校の普通科・理数科の卒業（見込み）者以外に限る。
4. 「理科」について、複数科目を受験している場合は高得点の科目を利用する。
5. 指定された教科・科目を受験していない場合は、「失格」とする。

7 健康診断

- (1) 提出された調査書又は健康診断書により審査し、その結果、必要と認められた者について再診断を実施します。
- (2) 調査書「健康の状況」欄又は健康診断の記載内容が事実と相違する場合は、入学許可を取り消すことがあります。

なお、入学者に対しては4月上旬に健康診断を行い、その結果、修学に支障があると認められた者は、休学を命ずることがあります。

- (3) 健康診断の判定は、次のとおり行います。

- ① 人文学部・教育学部・経済学部

疾病あるいは障害を理由とする不合格の判定は行わない。

- ② 理学部・工学部

入学後の保健指導等を考慮してもなお修学に耐えがたいと認められる疾病及び身体的機能障害の者は、入学を許可しないことがある。

8 身体に障害を有する入学志願者の事前協議

身体に障害（別表参照）のある入学志願者は、受験及び修学の際に特別な配慮を必要とすることがあるので、出願に先立ち、下記事項を記載した協議申請書（様式は問わない。）に医師の診断書を添え、本学学生部入試課入学試験係と協議をしてください。その結果、必要な場合は、本学において志願者又は出身高等学校関係者等の面談を行います。

なお、協議の期限後に、受験及び修学の際に特別な配慮を必要とすることとなった者は、次の②の連絡先に問い合わせてください。

- ・志望の学部・学科（課程）
- ・障害の種類・程度
- ・受験の際に特別な配慮を希望する事項
- ・修学の際に特別な配慮を希望する事項
- ・高等学校でとられていた措置（担任教諭の所見のあるもの）
- ・日常生活の状況
- ・その他参考となる事項

- ① 協議の期限

平成4年1月10日（金）まで

- ② 連絡先

富山大学学生部入試課入学試験係

〒930 富山市五福3190番地

電話 0764(41)1271(代表)

別 表

区 分	身 体 障 害 の 程 度
盲 者 (強度の弱視者) を含む。)	1. 両眼の矯正視力が0.1未満のもの 2. 両眼の矯正視力が0.1以上0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、点字による教育を必要とするもの又は将来点字による教育を必要とすることとなると認められるもの
聾 者 (強度の難聴者) を含む。)	1. 両耳の聴力レベルが100デシベル以上のもの 2. 両耳の聴力レベルが100デシベル未満60デシベル以上のものうち、補聴器の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢 体 不 自 由 者	1. 体幹の機能の障害が、体幹を支持することが不可能又は困難な程度のもの 2. 上肢の機能の障害が、筆記をすることが不可能又は困難な程度のもの 3. 下肢の機能の障害が、歩行をすることが不可能又は困難な程度のもの 4. 前3号に掲げるもののほか、肢体の機能の障害がこれらと同程度以上のもの 5. 肢体の機能の障害が前各号に掲げる程度に達しないものうち、6月以上の医学的観察指導を必要とする程度のもの
虚 弱 者 (身体虚弱者を) 含む。)	1. 慢性の胸部疾患、心臓疾患、腎臓疾患等の状態が6月以上の医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が6月以上の生活規制を必要とする程度のもの

(学校教育法施行令第22条の2の規定に準拠した。)

9 テレホンサービス

本学では、個別学力検査等の出願状況及び欠員補充の方法等について、次のとおりテレホンサービスを行います。
(本学への直接の問い合わせには応じない。)

- ① 出 願 状 況 平成4年1月23日(木)～平成4年2月2日(日)
- ② A日程・前期日程欠員補充方法 平成4年3月8日(日)～平成4年3月13日(金)
- ③ B日程・後期日程欠員補充方法 平成4年3月21日(土)～平成4年3月27日(金)
- ④ 欠 員 補 充 状 況 平成4年3月28日(土)～平成4年3月31日(火)

電話番号 0764(33)2999(通話料は有料です。)

(注) 上記期間以外は、テレホンサービスは行いません。

なお、午後6時から午後8時までの時間帯は、利用者が集中し、電話が繋がらないこともありますので、注意してください。

10 欠員の補充方法

入学手続締切日(前期日程においては3月13日、A日程・B日程及び後期日程においては3月27日)において、入学手続完了者数が各学部の募集人員に満たない場合は、3月28日から3月31日までの間に他の国公立大学に入学手続きをしていない者を対象として、追加合格による欠員補充を行います。

追加合格者には、電話等により連絡を行い、資格及び入学の意志を確認のうえ、文書による通知を行います。

(注) 本学から追加合格対象者として通知を受けてもすでに、他の国公立大学に入学手続きを完了した者は、これを取り消して本学に入学手続きをすることはできない。

平成3年度科学研究費補助金交付内定者

研究種目	研究代表者			研究課題	配分予定額(千円)		
	所属	職	氏名		平成3年度	平成4年度	平成5年度
一般研究(c)	教育学部	助教授	諸岡 晴美	連続的及び断続的運動時における スポーツウェア素材の人体影響	1,500	0	0

関 係 法 令

(政 令)

- 国家公務員宿舎法施行令の一部を改正する政令(280)

9. 6

(省 令)

- 国家公務員宿舎法施行規則の一部を改正する省令(大蔵42)

9. 6

- 国家公務員等の旅費支給規程の一部を改正する省令(同43)

9.19

- 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令(文部42)

10. 1

- 教育公務員特例法施行令第1条の規定に基づき大学院に置かれる研究科の長を定める省令の一部を改正する省令(同43)

10. 1

- 国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令(同44)

10. 1

(規 則)

- 人事院規則16-0(職員の災害補償)の一部を改正する人事院規則(人事院16-0-11)

9.30

(告 示)

- 平成4年度科学研究費補助金の課題を公募する件(文部99)

9. 5

- 大学入学に関し専修学校高等課程について文部大臣が個別に指定した件(同107)

10.25

- 大学入学に関し文部大臣が個別に指定した専修学校高等課程についてその課程を廃止した件(同108)

10.25

- 大学入学に関し文部大臣が個別に指定した専修学校高等課程についてその名称を平成2年10月1日から変更した件(同109)

10.25

- 大学入学に関し文部大臣が個別に指定した専修学校高等課程についてその名称を平成3年4月1日から変更した件(同110)

10.25

- 大学入学に関し文部大臣が個別に指定した専修学校高等課程についてその名称を平成3年6月1日から変更した件(同111)

10.25

- 大学入学に関し文部大臣が個別に指定した専修学校高等課程についてその名称を平成3年6月20日から変更した件(同112)

10.25

冬の省エネルギーに心掛けましょう!!

諸 会 議

第1回教務委員会（9月6日）

（審議事項）

- (1) 学位記の様式等について
- (2) その他

第4回事務協議会（9月9日）

（議 題）

- (1) 当面の諸問題について

第4回補導協議会（9月9日）

（審議事項）

- (1) 文化部会第1号委員（部会長）及び第2号委員の選出について
- (2) 体育部会第1号委員（部会長）の選出について
- (3) 大学祭について
- (4) その他

第3回発明委員会（9月10日）

（議 題）

- (1) 発明の届出について
- (2) 富山大学発明規則の改正（案）について

第4回附属図書館商議会（9月12日）

（審議事項）

- (1) CD-ROMについて

第4回大学院委員会（9月13日）

（審議事項）

- (1) 平成4年度富山大学大学院人文科学研究科（修士課程）学生募集要項について
- (2) 平成4年度富山大学大学院理学研究科（修士課程）及び工学研究科（修士課程）入学試験合格者の判定について
- (3) 富山大学大学院理学研究科委員会規則の一部改正（案）について
- (3) その他

第5回大学教育改善検討委員会（9月17日）

（議 題）

- (1) 学部教育の教育課程（卒業要件として必要な授業科目、単位数、必修・選択の別及び実施年次）の編成について
- (2) その他

第5回入学試験管理委員会（9月17日）

（審議事項）

- (1) 平成4年度入学試験問題作成委員について
- (2) 富山大学入学者選抜健康診断判定基準（案）について
- (3) 平成4年度富山大学学生募集要項（案）について
- (4) 平成5年度における入学者選抜第2次試験の実施方式・日程等について
- (5) 富山大学入学試験管理委員会規則の一部改正について

第7回評議会（9月20日）

（審議事項）

- (1) 平成4年度富山大学学生募集要項について
- (2) 平成3年9月卒業者の認定について
- (3) 学位記の様式等について
- (4) 富山大学学則の一部改正について
- (5) 富山大学理学部規則の一部改正について
- (6) 富山大学教養部規則の一部改正について
- (7) 富山大学大学院理学研究科規則の一部改正について
- (8) その他

第3回部局長懇談会（9月20日）

（議 題）

- (1) 平成4年度文部省在外研究員（若手教官）候補者の推薦について
- (2) その他

第1回事務電算化委員会（9月25日）

（議 題）

- (2) 物品管理事務システムの導入について
- (2) その他

第2回学寮補導委員会（9月27日）

（審議事項）

- (1) 負担区分問題について
- (2) その他

第1回保健管理センター運営委員会（10月8日）

（審議事項）

- (1) 平成3年度保健管理センター運営費予算（案）について
- (2) 平成3年度保健管理センター業務計画（案）について
- (3) その他

第3回学園ニュース編集委員会（10月14日）

（審議事項）

- (1) 第74号学園ニュースの編集について
- (2) 第75号学園ニュースの発行について

第6回大学教育改善検討委員会（10月15日）

（議 題）

- (1) 中間報告（案）について
- (2) 教育課程の編成について
 1. 開設授業科目の科目区分について
 2. 学部共通教育科目について
 - ① 開設授業科目及び単位数
 - ② 単位の計算方法
 - ③ 授業期間
 - ④ 授業を行う学生数
 - ⑤ 昼夜開講制について
 - ⑥ 「学部共通教育」実施のため、連絡・調整を行う組織・構成について
- (3) 組織・制度の改革について
- (4) その他

第2回入学者選抜方法研究委員会（10月15日）

（審議事項）

- (1) 第7期調査研究報告書（案）について
- (2) 第8期調査研究事項について
- (3) 入試関係組織の見直しについて
- (4) その他

第5回大学院委員会（10月18日）

（審議事項）

- (1) 平成4年度富山大学大学院経済学研究科（修士課程）入学試験合格者の判定について
- (2) その他

第8回評議会（10月18日）

（審議事項）

- (1) 平成3年9月卒業者の認定について
- (2) 転学部について
- (3) 富山大学入学試験委員会規則の制定について
- (4) 富山大学入学試験実施委員会規則の制定について
- (5) 富山大学入学者選抜方法研究委員会規則の一部改正について
- (6) 富山大学自己点検・評価に関する検討委員会規則（案）について
- (7) その他

第2回国際交流委員会（10月18日）

（審議事項）

- (1) 平成3年度富山大学国際交流事業基金第2種招へい事業（B）の採択について
- (2) 富山大学国際交流委員会留学生部会内規の一部改正について
- (3) その他

第7回大学教育改善検討委員会（10月22日）

（議 題）

- (1) 教育課程の編成について
- (2) 組織・制度の改革について
- (3) その他

第5回附属図書館商議会（10月24日）

（審議事項）

- (1) CD-ROMについて

第3回水素同位体機能研究センター運営委員会

（10月24日）

（審議事項）

- (1) 研究報告について
- (2) センター教員候補者の選考について
- (3) その他

第8回大学教育改善検討委員会（10月29日）

富山大学国際交流委員会留学生 部会内規の一部改正

富山大学国際交流委員会留学生部会内規の一部を改正する内規次のとおり制定する。

平成3年10月18日

富山大学長 小黒千足

富山大学国際交流委員会留学生部会内規

の一部を改正する内規

富山大学国際交流委員会留学生部会内規（昭和62年7月17日制定）の一部を次のように改正する。

第2条中第3号を第5号とし、第2号の次に次の二号を加える。

- (3) 留学生専門教育担当教官
- (4) 日本語・日本事情担当教官

第2条に次の一項を加える。

- 2 前項第3号及び第4号の委員は、当該学部等の長の推薦に基づき、学長が命ずる。

附 則

この内規は、平成3年10月18日から実施する。

- ▶ 富山大学国際交流委員会留学生部会内規の改正理由
留学生専門教育担当教官及び日本語・日本事情担当教官を留学生部会委員に加え、増加傾向にある留学生の対応について充実を図るため、所事項を改める。

レクリエーション

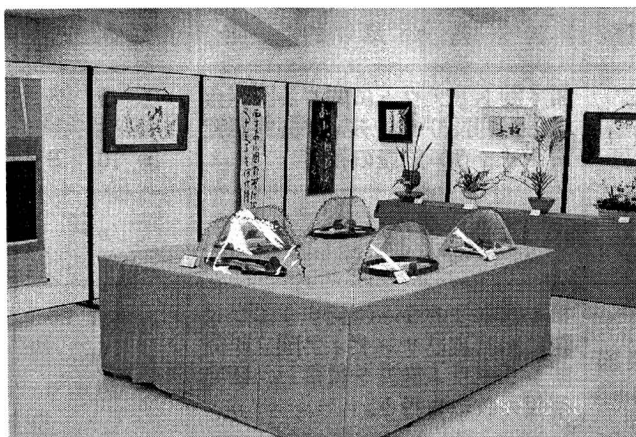
平成3年度教職員文化展

本学レクリエーション委員会文化部会と文部省共済組合富山大学支部の共催により、去る10月30日（水）から11月1日（金）までの3日間にわたって黒田講堂会議室・エントランスホールにおいて、平成3年度教職員文化展が開催されました。

本学教職員及びその家族から出品された華道16点、手芸35点、書道17点、絵画16点、写真19点及び盆景5点、計約100点が会場一杯に展示され、出展者の多彩な趣味・特技に多くの教職員が目を見張っていました。

また、昼食時には茶道班により抹茶の^{なて}点出しがある等、大変好評を博した文化展となりました。





学内レクリエーション

<バドミントン大会>

本学レクリエーション委員会体育部会バドミントン班と文部省共済組合富山大学支部共催による平成3年度学内バドミントン大会が、去る10月19日(土)本学第3体育館において約65名の参加者を得て、熱戦が繰り広げられました。

なお、成績は次のとおりでした。

- (優 勝) 教養部チーム
- (次 勝) 工学部チーム

<野球大会>

本学レクリエーション委員会体育部会野球班と文部省共済組合富山大学支部共催による平成3年度部局対抗野球大会が、平成3年9月17日から平成3年10月31日の間、本学グラウンドで熱戦が繰り広げられました。

なお、成績は次のとおりでした。

- (優 勝) 工学部チーム
- (次 勝) 経済学部・附属図書館チーム

海外渡航者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	人文学部	教授	矢澤 英一	ソビエト連邦	ロシアにおける農奴劇場の研究	3. 9. 12 } 3. 9. 29
	"	教授	坂井 純一	アメリカ合衆国	第2回ガンマ線観測科学研究集會に出席し、太陽フレア時の陽子の加速機構についての研究成果を発表する。また、アメリカ航空宇宙局にて、研究・討論を行う。	3. 9. 22 } 3. 10. 6
	工学部	助教授	北野 博巳	連 合 王 国 ドイツ連邦共和国	研究資料の収集及び国際シンポジウム「スペシャリティー・ポリマーズ'91」に出席し研究発表を行う。	3. 9. 23 } 3. 10. 3
	教養部	助教授	鈴木 孝志	連 合 王 国 イ タ リ ア フ ラ ン ス	ジェイムズ・ジョイス研究	3. 9. 26 } 4. 7. 25

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	水素同位体機能研究センター	教授	渡辺 国昭	アメリカ合衆国	第4回トリチウムに関する国際会議に出席及びサンディア国立研究所トリチウム施設の視察	3. 9. 28) 3. 10. 9
	〃	文部技官	三宅 均	〃	〃	〃
	工学部	教授	長谷川 淳	アメリカ合衆国	第4回トリチウムに関する国際会議に出席及びサンディア国立研究所トリチウム施設を視察し、研究情報の収集を行う。	3. 9. 28) 3. 10. 9
	人文学部	助教授	磯部 彰	中華人民共和国	中国地方劇の研究	3. 9. 30) 3. 10. 15
	理学部	教授	広岡 公夫	インド	インド半島マハナディ地溝帯及びゴダバリ地溝帯の地史とプレートテクトニクスの研究	3. 10. 12) 3. 11. 9
	〃	助手	酒井 英男	〃	〃	〃
	〃	教授	杉田 吉充	アメリカ合衆国	アメリカ電気化学会主催に関するシンポジウムに参加及びシリコン結晶の欠陥制御に関するの情報交換	3. 10. 13) 3. 10. 25
	工学部	教授	宮下 尚	中華人民共和国	日中化学工学学術会議に出席及び研究資料の収集、研究動向の調査を行う。	3. 10. 23) 3. 11. 1
	経済学部	教授	中藤 康俊	中華人民共和国	環日本海経済交流に関する調査研究	3. 10. 24) 3. 10. 29
海外研修旅行	教育学部 附属養護学校	教諭	酒井 義久	アメリカ合衆国 ドイツ、イタリア フランス	諸外国の教育、文化の実情を視察し国際的視野に立って識見及び教職に対する誇りと自覚を高める。	3. 10. 25) 3. 11. 18
	経済学部	助教授	西村 秀二	香港	監獄及び薬物濫用者治療センター等の調査及び資料収集	3. 9. 16) 3. 9. 20
	教育学部	助教授	神川 康子	フランス	世界睡眠学会議出席のため	3. 9. 20) 3. 9. 27
	経済学部	助教授	長久 良一	アメリカ合衆国	(期間変更) 引き続き、研究に従事するため	2. 9. 30) 4. 9. 29
工学部	助教授	石原 外美	中華人民共和国	第4回アジア-太平洋材料強度評価に関する国際会議に出席し研究発表を行うとともに研究施設の視察及び研究討論を行う。	3. 10. 6) 3. 10. 17	

お 知 ら せ

授業料の納付方法の変更について

平成4年度から授業料の納付方法が、従来の学部の窓口での納付から、納入告知書による銀行納付に変わります。これは、学生の利便、事務の合理化・簡素化並びに現金取扱いの際の事故防止等を目的に実施されるものです。なお、その概要は次のとおりです。

納入告知書による授業料の納付方法の概要

1. 実施開始時期

平成4年度前期分授業料（平成4年4月）から実施する。

2. 納入告知書の送付

納入告知書（銀行等へ払い込むための用紙）を毎年4月1日（前期分授業料）及び10月1日（後期分授業料）付けで、学生名のあて名で保証人住所へ郵送する。なお、納入告知書を保証人に送付すると支障がある場合は、学生の現住所へ郵送する。

3. 納付方法等

(1) 納付方法

納入告知書に所定の授業料を添えて、最寄りの銀行又は信用金庫等の窓口で納付させる。

(2) 納付期限

納入告知書に記載の納付期限までに納付させる。

前期分授業料 4月末日

後期分授業料 10月末日

(3) 1年間分の授業料納入方法（一括納付方法）

前期分授業料納付の際に、一括して後期分授業料の納付を希望する場合は、後期分も併せて納付させることができる。

これを希望する場合は、当該学部等の会計担当係に申し出ることとし、後日後期分授業料の納入告知書を送付する。

なお、下記4の(2)以外は、後期分授業料を返還できないので留意する必要がある。

4. 授業料免除申請中の学生の取扱い等

(1) 納付済みの授業料は、下記(2)に該当する場合以外は返還することができない。したがって、授業料免除申請中の学生は、授業料減免選考の審査結果がでるまで納付しないよう注意する必要がある。

なお、この場合は納入告知書の発送を保留するが、手続きの行き違いで送付された場合は、授業料を銀行等に払い込まずに納入告知書を当該学部等の会計担当係に返送させる。

(2) 前期分授業料の納付の際に、後期分授業料を併せて一括納付した学生が、後期分授業料徴収時期前に休学又は退学した場合は、申出により後期分授業料相当額を返還する。

(3) 休学又は退学の予定がある場合は、あらかじめ当該学部等の学務担当係に連絡させる。この場合の納付金額については、別に指示する。

5. 住所変更の届出

納入告知書の未着を防ぐため、学生の現住所又は保証人の現住所が変わった場合は、速やかに当該学部等の学務担当係に届け出る。

主 要 行 事

本 部

- | | | | |
|--------|---|--------|--|
| 9月4日 | 平成3年度全国公務員レクリエーション共
同行事富山地区ソフトボール大会（於：常
願寺川公園） | 24～25日 | 国立学校土地有効活用検討状況等実地調査 |
| 6日 | 第1回教務委員会 | 25日 | 大学教育改善検討委員会専門委員会
第1回事務電算化委員会 |
| 8日 | 文部省共済組合富山地区共同事業体育大会
（於：富山商船高等専門学校） | 26日 | 第26回東海・北陸地区国立大学事務局長会
議（於：名古屋工業大学）
平成3年度大学広報セミナー（西日本地区）
（於：大阪フェスティバル・リサイタルホール） |
| 9日 | 第4回事務協議会
第4回補導協議会 | 26～27日 | 第29回体育系サークルリーダー研修会（於：
山野スポーツセンター） |
| 9～13日 | 平成3年度東海・北陸地区国立学校等会計
事務職員研修（於：名古屋大学） | 27日 | 第2回学寮補導委員会 |
| 10日 | 第3回発明委員会 | 28日 | 平成3年度学内釣大会（於：富山新港） |
| 12日 | 富山消防署査察 | 29日 | 平成3年度共済組合主催事業（地引き網） |
| 13日 | 第4回大学院委員会
第15回北陸地区会計事務担当者連絡協議会
（於：金沢大学） | 30日 | 外国人留学生との懇談会（於：国立若狭湾
少年自然の家）（～10月1日）
平成3年度富山地区国立学校事務電算化要
員養成研修会（～10月4日） |
| 14日 | 公開講座「地球環境を考える」開講
（～11月30日まで 10回）
平成3年度学内硬式庭球大会 | 10月 | |
| 17日 | 第5回大学教育改善検討委員会
第5回入学試験管理委員会
平成3年度部局対抗野球大会（～10月31日） | 1～4日 | 平成3年度国立学校等課長（事務長）補佐
研修（於：国立オリンピック記念青少年総
合センター） |
| 17～26日 | 第37回中部地区中堅係員研修（於：名古屋
合同庁舎2号館） | 1～9日 | 平成3年度学内物品定期検査 |
| 18日 | 部課長会議
第1回体育部会 | 3～4日 | 平成3年度東海・北陸・近畿地区国立学校
広報・文書研究協議会（於：N T T東海セ
ミナーセンター）
第27回41大学経理部長会議（於：佐賀大学）
第12回全国国立大学学生部長協議会（於：
ホテルポールスター札幌） |
| 18～20日 | 平成3年度国立学校事務電算化講習会（於：
富士通関西システムラボラトリ） | 7日 | 高等学校長協会と大学との懇談会 |
| 19日 | 会計係長会議 | 8日 | 第51回東海・北陸地区国立大学等施設部課
長会議（於：金沢大学）
第1回保健管理センター運営委員会 |
| 19～20日 | 平成3年度東海・北陸地区管理事務協議会
及び第50回東海・北陸地区国立学校等庶務
部課長会議（於：富山医科薬科大学） | 9日 | 健康保険・厚生年金保険関係事務実地調査 |
| 20日 | 第7回評議会
第3回部局長懇談会 | 14日 | 胃検診・肝機能検査・中性脂肪・貧血検査
第3回学園ニュース編集委員会 |
| 24日 | 第42回文部省会計事務特別研修（～10月9
日）（於：国立オリンピック記念青少年総
合センター）
第5回国際交流委員会留学生部会 | 15日 | 第6回大学教育改善検討委員会
胃検診・肝機能検査・中性脂肪・貧血検査
第2回入学者選抜方法研究委員会 |
| | | 16日 | 部課長会議 |

- 国際交流委員会学術交流部会
 17日 胃検診・肝機能検査・中性脂肪・貧血検査
 18日 第5回大学院委員会
 第8回評議会
 第2回国際交流委員会
 胃検診・肝機能検査・中性脂肪・貧血検査
 19日 学内バドミントン大会
 21日 心電図検査・血圧測定・尿検査
 21～23日 文部省会計実地監査
 21～30日 平成3年度北陸地区国立学校事務電算化担
 当職員研修会（於：辰口共同研修センター、
 金沢大学）
 22日 第7回大学教育改善検討委員会
 23～24日 中国地方教育行政官来学
 23～25日 平成3年度国立大学事務長研修
 （於：国立教育会館）
 24日 心電図検査・血圧測定・尿検査
 婦人科検診・乳房検診
 24～25日 第27回国立41大学庶務部長会議（於：東京
 学芸大学）
 富山大学温窓会レクリエーション（氷見）
 第54回国立大学学生部次長協議会
 （於：高知新阪急ホテル）
 25日 心電図検査・血圧測定・尿検査
 26～27日 経理部レクリエーション（輪島）
 28～31日 平成3年度東海・北陸地区国立学校等係長
 研修（於：静岡 公立学校共済組合「たち
 ばな会館」）
 29日 第8回大学教育改善検討委員会
 心電図検査・血圧測定・尿検査
 富山県留学生等交流推進会議運営委員会
 30日 平成3年度教職員文化展（～11月1日）
 31日 15大学事務局長会議（於：九州工業大学）
 （～11月1日）
 第49回東海・北陸地区国立大学長会議（於：
 福井医科大学）（～11月1日）

人文学部

- 9月4日 時間割担当者会議
 学部教務委員会
 入学者選抜方法検討委員会

- 6日 事務連絡会
 9日 学部将来計画委員会
 11日 教授会
 教授会（人事）
 人文科学研究科委員会
 13日 係長会議
 18日 係長会議
 25日 教授会
 人文科学研究科委員会
 拡大教務委員会
 30日 係長会議
 10月4日 係長会議
 8日 物品の定期検査
 9日 学部教務委員会
 教授会
 教授会（人事）
 11日 学部拡大教務委員会
 専門教育課程移行者オリエンテーション
 14日 後学期授業開始
 16日 第14回17大学人文系学部事務長会議（於：
 琉球大学）
 17～18日 第35回17大学人文系学部長会議（於：琉球
 大学）
 21日 学部補導委員会
 23日 学部将来計画委員会
 24日 学部入学者選抜方法検討委員会
 学部ソフトボール・バレーボール大会
 30日 教授会
 学部将来計画委員会

教育学部

- 9月2日 附属養護学校第2学期始業式
 附属幼稚園第2学期始業式
 2～4日 教員養成実地指導（事前指導）
 4日 教育実習運営協議会
 5日 学部将来計画委員会
 9日 学部図書委員会
 11日 入学者選抜方法検討委員会
 学部教務・補導合同委員会
 学部教務委員会
 教授会

- 人事教授会
18日 人事教授会
26日 大学院設置準備委員会
26～27日 平成3年度北陸地区教員養成学部事務長協議会（於：信州大学）
10月1日 附属学校運営委員会
1～2日 日本教育大学協会北陸地区会国語・書道科合同研究協議会（於：佐渡）
2日 人事教授会
4日 学部将来計画委員会
物品定期検査
4～5日 日本教育大学協会北陸地区会外国語部門研究協議会（於：上越教育大学）
7日 学部図書委員会
7～9日 日本体育学会第42回大会（於：本学）
8～9日 日本教育大学協会学長・学部長等連絡協議会（於：箱根）
11日 学部補導委員会
学部教務・補導委員会
学部教務委員会
教授会
人事教授会
日本教育大学協会全国教育実習研究部門理事会・総会・研究協議会（於：兵庫教育大学）
12日 平成3年度日本教育大学協会研究集会（於：兵庫教育大学）
17～18日 平成3年度教育学部学生合宿研修（秋季）（於：国立立山少年自然の家）
秋季全国国立大学教育学部長会議（於：熊本大学）
日本教育大学協会北陸地区会理科部門研究協議会（於：上越教育大学）
18～19日 日本教育大学協会北陸地区会音楽部門研究協議会（於：上越教育大学）
日本教育大学協会北陸地区会保健体育部門研究協議会（於：上越教育大学）
21日 後学期授業開始
22日 文部省会計実地監査
全国国立大学附属学校連盟北信越地区副校園長会（於：和倉温泉）
23日 学部補導委員会
23～24日 日本教育大学協会・全国国立大学附属学校連盟・全国国立大学附属学校PTA連合北信越地区協議会（於：金沢大学教育学部附属小・中学校）
24日 紀要編集委員会
24～25日 日本教育大学協会北陸地区会社会科部門研究協議会（於：新潟大学）
29日 予算委員会
30日 大学院設置準備委員会
学部将来計画委員会
拡大学院部将来計画委員会
31日 附属幼稚園教育研究会
- 経 済 学 部
- 9月2日 授業再開
4日 学部教務委員会
学部入学方法検討委員会
人事教授会
教授会
学部補導委員会
7日 学部前学期授業終了
10日 防火対策委員会
11日 学部教育改善検討委員会
大学院経済学研究科委員会小委員会
大学院経済学研究科委員会
12日 富山消防署立入検査
係長会議
13日 夜間主コース運営委員会
14日 大学院経済学研究科前学期授業終了
18日 助手室業務運営委員会
係長会議
24日 各種委員選考委員会
学部教育改善検討委員会
25日 学部教務委員会
人事教授会
教授会
30日 学部入学方法検討委員会（持ち回り）
10月1日 学位記授与式
3日 平成3年度物品の定期検査
転学部・転学科出願者選考委員会
8日 平成4年度大学院経済学研究科（修士課程）

- 入学試験
- 9日 学部教務委員会
学部入学方法検討委員会
人事教授会
教授会
- 11日 専門教育課程移行者オリエンテーション
外国人留学生懇談会
- 14日 後学期授業開始
学部教育改善検討委員会
- 16日 平成4年度大学院経済学研究科（修士課程）
入学試験合格者選考委員会
大学院経済学研究科委員会
日本海経済研究所運営委員会
- 18～19日 第7回国立12大学経済・経営学部教官懇談会（於：小樽商科大学）
- 23日 教授会
- 25日 学部補導委員会
- 30日 学部教育改善検討委員会
- 31日 係長会議

理 学 部

- 9月4日 入試改善委員会
学部教務委員会
教育改革問題等懇談会
- 5～6日 大学院理学研究科（修士課程）入学者選抜試験
- 6日 事務連絡会
- 9日 学部図書委員会
- 11日 教授会
人事教授会
理学研究科委員会
- 13日 係長会議
- 18日 学部図書委員会
大学院構想懇談会
係長会議
- 19日 交通安全講習会
- 30日 係長会議
- 10月4日 教育改革問題等懇談会
係長会議
- 8日 物品の定期検査
- 9日 教授会

理学研究科委員会

- 人事教授会
- 11日 専門教育課程移行者オリエンテーション
- 14日 後学期授業開始
- 16日 学部将来計画委員会
- 22日 学部補導委員会
- 24日 国立22大学理学部長会議（KKR東京竹橋）
- 25日 第9回国立大学理学部長会議（KKR東京竹橋）

工 学 部

- 9月2日 係長連絡会
- 3～4日 大学院工学研究科入学試験
- 5日 学部入学試験検討委員会
拡大教務委員会
- 9日 学部教務委員会
- 10日 学部入学試験検討委員会
- 11日 教授会
工学研究科委員会
専門教授会
工場運営委員会
- 12日 学部共通機器運営委員会
- 18日 学部運営委員会
学部自己評価等委員会
- 20日 教育用端末利用委員会
学部補導委員会
- 21日 前学期授業終了
- 25日 学部施設整備委員会
概要編集委員会
- 30日 係長連絡会
- 10月1日 物品定期検査
- 3～4日 第15回国立大学47工学系学部長会議（於：山形大学）
- 8日 学部入学試験検討委員会
学部教務委員会
- 9日 学部拡大教務委員会
学部教務委員会
教授会
工学研究科委員会
専任教授会
- 11日 専門教育課程移行者オリエンテーション

- 交通安全講習会
14日 後学期授業開始
14～15日 第24回北陸信越地区国立大学工学部長会議
(於：福井大学)
16日 学部教務委員会
学部概要編集委員会
学部自己評価等委員会
22日 文部省会計監査
23～24日 中国地方教育行政官研修のため訪問
24日 学部補導委員会
28日 博士課程設置準備委員会
29～30日 第44回国立大学工学系事務長会議 (於：岡
山大学)
30日 学部入学試験検討委員会
選考委員会
教授会

教 養 部

- 9月2日 内地・在外研究員に関する委員会
3日 教務委員会
4日 人事教授会
教授会
10日 将来計画委員会
12日 富山消防署立入検査
前学期末試験(昼間主)
17日 将来計画委員会
前学期末試験(夜間主)
26日 施設整備委員会
将来計画委員会
27日 予算委員会
10月
2～3日 12大学教養部長・事務長連絡会議(於：弘
前大学)
3日 将来計画委員会
7日 物品定期検査
8日 教務委員会
予算委員会
教授会
14日 後学期授業開始(昼間主・夜間主コース)
教務委員会
16日 補導委員会

- 将来計画委員会
17日 健康診断(胃検診・血液検査)
22日 文部省会計監査
将来計画委員会
23日 将来計画委員会
26～27日 親和会レクリエーション(於：能登方面)
29日 健康診断(心電図・血圧測定及び尿検査)
30日 人事教授会
教授会

附 属 図 書 館

- 9月6日 北陸地区国立大学附属図書館システム担当
者打合せ会(於：金沢大学附属図書館)
10日 係長連絡会
12日 第4回附属図書館商議会
富山消防署査察
10月2日 物品定期検査
3日 係長連絡会
22～23日 平成3年度北信越地区国立大学図書館
研修会(於：福井医科大学附属図書館)
23日 係長連絡会
24日 第5回附属図書館商議会

水素同位体機能研究センター

- 9月3日 機種選定委員会(一般設備)
10日 人文学部、理学部、教養部及び水素同位体
機能研究センター防火管理内規に基づく定
期査察
12日 富山消防署査察
10月25日 R・I教育訓練
31日 平成3年度第3回水素同位体機能研究セン
ター運営委員会

地域共同研究センター

- 9月5日 先端技術研修バイオコース(～12日)
18日 先端技術研修新素材コース(～27日)
20日 先端技術研修情報処理コース(～27日)
24日 経営者研究者交流会実行委員会
(於：富山技術開発財団)

- 10月2日 人事院・文部省関係者視察
17～18日 第3回国立大学共同研究センター長会議
(於：神戸大学)
22日 先端企業見学研修
23～24日 中国地方教育行政官研修視察

保健管理センター

- 9月
25～26日 全国大学保健管理研究集会
(於：広島国際会議場)
27日 国立大学保健管理施設協議会
(於：山口大学)
10月8日 第1回保健管理センター運営委員会
14～15日 胃検診及び血液検査
17～18日 胃検診及び血液検査
21日 循環器検診及び尿検査
24～25日 循環器検診及び尿検査
29日 循環器検診及び尿検査

編集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 あけぼの企画株式会社
富山市住吉町1丁目5-18
電話 (24) 1755(代)